



平成27年4月16日

各位

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
 代表者 代表取締役社長 神野 晴年
 (コード番号 7506)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 桑野 純也
 (TEL 03-5114-5800)

業績予想及び配当予想の修正並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、平成27年4月16日開催の取締役会において、平成27年2月3日に公表した業績予想及び配当予想について、最近の業績動向に鑑み下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成27年3月期決算(平成26年4月1日～平成27年3月31日)において、下記のとおり、繰延税金資産の取崩しを行う見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,750	120	120	50	10.63
今回修正予想(B)	13,450	28	35	△99	△21.18
増減額(B-A)	△299	△91	△84	△149	
増減率(%)	△2.2	△76.1	△70.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	14,675	622	606	275	58.53

修正の理由

(1)当社は、昨年4月からの消費税率引上げに伴う反動減の影響が、主力のハウス オブ ローゼ化粧品販売事業を中心に想定を上回る状況となったことから、昨年11月4日付にて業績の下方修正をいたしました。その後、徐々に持ち直しの傾向にありましたが、売上高につきましては、特に百貨店店舗の回復力が弱く結果的に計画を下回る見込みとなりました。

また、費用面につきましては、売上減少に伴う固定費率の上昇に加え、業績回復に資すべく実施した販売促進費や販売スタッフの確保等雇用に係る人件費の負担増などにより、営業利益が前回予想を下回り、さらに以下に記載いたしましたように、繰延税金資産の取崩しを行うこととなり、当期純利益は損失計上となる見込みとなったことから、再度業績予想の修正をいたします。

(2)繰延税金資産の取崩しについて

平成27年度税制改正(法人実効税率の引下げ及び欠損金繰越控除制度の縮減)並びに当期及び次期以降の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、貸借対照表に計上していた繰延税金資産のうち63百万円を取崩し、法人税等調整額に計上いたします。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年2月3日発表)	—	—	—	20.00	40.00
今回修正予想	—	—	—	15.00	35.00
当期実績	—	20.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	20.00	—	20.00	40.00

修正の理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、業績及び財務状況等を勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

この基本方針を踏まえ、平成27年3月期の業績予想において当期純利益が損失計上となる見込みとなったことを受け、まことに遺憾ながら期末配当金の予想を前回予想(平成27年2月3日発表)の1株あたり20円から5円減配し、1株あたり15円に修正させていただくことといたしました。これにより、中間配当金を含めた当期の年間配当金は、1株あたり35円とすることを予定しております。

なお、本件につきましては、平成27年6月開催予定の第34回定時株主総会に付議する予定であります。

以上